令和６年度　牛道小学校　学校経営構想

【郡上市の教育理念】
凌霜の心で拓く明日の郡上市　　～自立・共生・創拓の教育～　　「まめで　なにくそ　おかげさま」

【学校の実態】
◎三世代で暮らす家庭が多く、祖父母のサポートが手厚い。
◆主体性を育む必要性がある。
◆仲間とつながり、自分の考えを広げ深める力を育む必要性がある。

学校の教育目標
仲間を大切にし　進んでやり抜く子
あたたかく　かしこく　たくましく

【保護者・地域の願い】
◇より多くの人と関わりながら社会性を身に付けてほしい。
◇子どもたちが安心して過ごせる学校づくりを進めてほしい。

【大切にする児童の意識】
「学校は楽しい」９５％以上
「授業が楽しい」９０％以上
「自分が好き」「学級が好き」
「仲間が好き」９０％以上

「笑顔をつなぐ牛道小」
教職員と子ども　　子どもと子ども　　教職員と教職員
１年間をつなぐ　　９年間をつなぐ
学校と家庭・地域をつなぐ

【大切にする教職員の意識】
「笑顔をつなぐあいさつ」
「全教職員がチームで動く」
「子どもが主役の授業づくり」

経営の重点

	あたたかく	かしこく	たくましく
重点	◎居心地がよい学級・仲間づくり ◎命と人を尊重する考えと行動の推進	◎課題に向かって主体的に取り組む授業 ◎地域のよさを知り、よりよい牛道地域をつくりだす活動	◎目標をもち粘り強く取り組む活動 ◎学校生活を自分たちの力でよりよくする活動
大切にしたい取組	☆一人一人に安心感を与える学級経営 ☆「ほかほか宣言」の具現に向けた取組（人権教育の推進）	☆仲間との対話を取り入れた授業 ☆地域の人、ものに進んでかかわる学習の推進（郡上学への取組）	☆１年間をつなげる児童会活動（委員会活動・なかよし班活動） ☆仲間と協働し、自分たちの手で創り上げる活動の推進（運動会・学習発表会）

願う姿と指導方針

笑顔をつなぐ仲間づくり

願う姿と児童の意識	○目標に向かってこの仲間とがんばりたいという意欲をもつ。 ・この仲間なら自分の思いが話せる。 ・学級目標達成に向けてこの仲間とがんばりたい。	○仲間のよさや頑張りを認め合う。 ・○○さんって、こんないいところがある。 ・○○さんのおかげで、こんなに学級がよくなった。	○学級目標に照らしながら、学級集団を高める。 ・仲間と協力しながら、自分たちの力でやり遂げることができた。 ・私たちの学級のよさは、○○だ。	○自分の成長と学級の高まりを実感する。 ・仲間のおかげで、自分は○○のように成長することができた。 ・この仲間と１年間がんばってきてよかった。
集団の高まり	所　属（分かり合う）	同　調（認め合う）	協　力（支え合う）	連　帯（信頼し合う）
めざすステージ	Ⅰ:安心（4～6月）	Ⅱ:全力（7～9月）	Ⅲ:挑戦（10～12月）	Ⅳ:自立（1～3月）

保護者・地域、関係機関との連携

◇家庭や地域との連携
・児童のよさを積極的に家庭に伝えながら、対話によって保護者との信頼関係を築く。
・保護者へ地域に学校の教育活動を伝え、理解と協力を得る。（「すぐーる」のタイムラインの活用）
・学校運営協議会を核とし、牛道っ子応援スタッフの協力を得ながら、地域と共に歩む学校づくりを進める。
・PTA、牛道公民館と連携をしながら、児童も保護者も学び楽しめる活動を生み出し、実践する。
・公民館活動に児童が参画し、地域のためにできることを考え実践する。

◇主な活動や体制
☆牛道っ子応援クラブ（ひまわり花いっぱい大作戦・親子でホタルをみる会・親子防災教室・ふくもち園での親子川遊び・ウォーキング）
☆牛道見守り隊による登校の見守り
☆選択制による学校ボランティアの募集（読み聞かせ・土日の花の水やり・草取り・学習支援・野菜作りなど）
☆クラブ活動（太鼓、茶道、白鳥踊り・ダンス、アート）の講師

◇専門家・関係機関との連携
・児童の状況に応じた関係機関との積極的な連携の推進
・SC、児童家庭課、特別教育関連機関、保育園等との連携
・主任児童委員との情報連携を踏まえた対応